説明会開催　保存の機運高まる

伊万里市大川町の熊野神社にある有田焼の大作「楠公父子像」の保存に向けた機運が地元で盛り上がりつつある。有田町岩谷川内にかつてあった松尾窯の松尾徳助（1857～1926）が明治半ばに作り、内国勧業博覧会に出品したが、長年風雨にさらされ、破損が進んでいる。17日には地元の駒鳴公民館で初めて説明会が開かれた。

父子像は南北朝時代に後醍醐天皇に忠義を尽くした武将、楠木正成と息子の正行がモデル。熊野神社にいつから、なぜ置かれているかなどを解説する有田町歴史民俗資料館の尾崎葉子館長

説明会で概要を解説する有田町歴史民俗資料館の尾崎葉子館長

全国級の選手育てる

さが人2019

鳥栖卓球センター代表
岡本　篤郎さん（49）

「卓球文化を鳥栖に根付かせたい」と語る岡本篤郎さん

コツッ、コツッという軽快な音が卓球場内に響く。ボールを打つ小中学生の相手をしながら、「手だけで打たない」「体をねじりすぎたらだめ」などと、絶えず指示を出す。鳥栖市桜町に「鳥栖卓球センター」を開いて1年4カ月。「全国大会で活躍できる選手を育てたいという思いがますます強くなった」と語る。幼稚園児から80代のお年寄りまで約50人が所属している。

このうち小中高校生のメンバーは約20人。競技力の向上を目指し、放課後などに練習に励む。指導法は、初心者は基本の繰り返し、上達すると試合形式の練習を増やす。精神面が勝負を左右するため、相手との駆け引きを身につけさせる。

県レベルの大会で上位に入る選手も出てきた。全国から選手が集う「東京卓球選手権大会」に今月出場した同市立基里中2年、木谷颯太さん（14）は「教え方は厳しいけれど、苦手克服法などを尋ねるといつも丁寧に答えてくれる」と〝師匠〟について話す。

「最初に大きな声であいさつすることで相手に勝つ強い気持ちが生まれる。卓球は相手を完全否定しないスポーツ。マナーも大切」という。

山口県出身。父親も自身も転勤族のため全国を転々とした。中学時代に卓球を始め、金融会社就職後の3年間以外はずっと続けた。2004年、アテネ五輪に出場した福原愛さんの成長を追ったテレビ番組を見て感激し、当時4歳だった双子の長男、長女に教え始めた。引っ越しのたびに子どもも現地の卓球クラブへ。そのクラブを通じて自らも多彩な指導法を身につけた。

「自分のクラブを」という思いが40歳を過ぎたころから募る。16年に仕事を辞め、実家（福岡県太宰府市）近くで交通の便が良い鳥栖市に17年12月、同市初の本格的卓球場として同センターをオープンさせた。

メンバーはリフレッシュや健康維持が目的のシニア層も多い。「昔はやっていたけれど、鳥栖にフレーする所がなかった」と約40年ぶりにラケットを握った80代女性は、つえを突いて通ってくる間に元気になり、つえを忘れて返ったこともあったという。

卓球を活用して心身の機能回復や認知症を予防する「卓球療法」を広めることにも力を入れている。同市内の福祉施設で試験的に実施したことがあった。高齢者は座ったままで、音の鳴るボールをラケットではじき合う。次第に明るい笑い声がこぼれた。「体を動かす効果もありますが、会話や笑顔が生まれ、精神的な改善につながる」

NPO法人「日本卓球療法協会」が認定する「療法士」の資格を18年8月に取り、今年1月には療法士を指導するインストラクターになった。現在は実践の場を探している。

「体の大きさや年齢、性別に関係なく取り組める」と卓球の魅力を語る。年代を問わず参加できる大会も18年3月から毎月主催している。今後の目標について、静かな静かな口調で語る。「卓球文化を鳥栖の街に根付かせたい」

（荒木達也）

「よくやった」「次も勝利を」

サッカーJ1サガン鳥栖は17日、鳥栖市の駅前不動産スタジアムでジュビロ磐田と対戦し、1―0で今季リーグ戦初白星を勝ち取った。スタジアムにはサポーターら1万462 4人が詰め掛け、待望の勝利に大歓声を上げた。

この日は、地元全体で応援の機運を高めようと市が毎年実施している「鳥栖市民DAY」。市内の親子連れを対象にスタジアムの見学ツアーを開いたほか、市立田代小の児童計22人が選手の入場をエスコートした。

試合はMF原川力選手が積極的なパスやシュートで攻撃を先導した。試合終了間際、ホーム戦初出場のFWクエンカ選手が味方のパスを頭で合わせ、来日初得点。サポーターは両手を掲げて喜び合った。

ゴールが決まり、いち早くサポーターの元に駆け寄ったクエンカ選手は「うれしすぎて何も考えられなかったが、とにかく（観客と）喜びを共有したかった」。カレーラス監督は「欲しかった一勝を得た」と振り返った。

家族で観戦した福岡県大川市の小学2年吉岡夏乃羽さん（8）は「やっと勝ててホッとした。次もクエンカ選手の活躍で勝って」と期待を込めた。

（星野楽）

来日初ゴールを決めたを大歓声で迎えるサガ

億円の試算を巡り、再試算を求める声が相次いだ。

会合は、新鳥栖―嬉野温泉駅間の沿線市町の議員や首長ら約35人が参加。講師を務めたJR九州出身の今村雅弘衆院議員が、フル規

16日の成績

◇相撲
▽団体予選1回戦
宇治山田商（三重）　3―0　多久
▽同予選2回戦
近大付（大阪）　3―0　多久
▽同予選3回戦
加茂水産（山形）　2―1　多久
▽個人予選1回戦
新居頼二（唐津工）　不戦勝　中村春輝（岡山・岡山理大付）
宮崎光星（埼玉・埼玉栄）　はたきこみ　富永翔（多久）
新垣翔太（沖縄・中部農林）　つきだし　緒方太一（多久）
白川大陽（松商）　よりきり　外尾祐樹（佐賀清和）
深沢成矢（新潟・海洋）　おしたおし　吉村陸（多久）
神宮潤也（多久）　そとがけ　竹田翔己（北海道・大野農）
島内実（高知・高知農）　よりきり　稲又勇大（佐賀清和）
▽同予選2回戦
花田秀虎（和歌山・和歌山商）　おしだし　新居頼二（唐津工）
神宮潤也（多久）　いさみあし　佐谷戸恒太（群馬・高崎）
▽同予選3回戦
松永ショージ（千葉・拓大紅陵）　はたきこみ　神宮潤也（多久）

郷土力士の星取表

春場所8日目
【幕下】
場16 ●○○●○●○○
木45 ●○○●○○●●
古一琴隆成48 ○●●○○●○○
【三段目】
海39 ○○●○○●●○
唐津有明72 ○●●○●○○○
【序二段】
藤川23 ○○●○○●○●

きょうの花粉予報

スギ　ヒノキ

佐賀	唐津	三養基

4個＝非常に多い　3個＝多い
2個＝やや多い　1個＝少ない

【有明海況】

（17日午前6時半）

		有明水	水温	比重
		振調べ	欠	測
筑後川沖				
早津江川沖			11.7	19.6
六角川沖			11.6	20.1
塩田川沖			11.8	23.0